

地域に根差した農産物を栽培していただきたくと考えている。また、立地を活かした観光農業で人を呼ぶため、観光農業推進協議会を設立し、農家の方たちの活動を行政が支援していく。

地域経済応援事業

Q 消費増税に対応するための事業と理解してよいのか。

A 産業振興課長 消費増税に伴う需要の平準化、消費の下支えのための事業である。

道路水路整備事業

Q 市道1033号線（鎌倉街道）の整備についての考え方は。

A 道路建設課長 安全面の確保を第一に考え、沿道の住民と調整し、設計に反映する。



市道1033号線（鎌倉街道）

災害対策事業

Q 地域との情報の伝達訓練、地域の伝達体制のきつかけ

づくりについての考えは。

A 安心安全推進課長 昨年台風第19号では市民への情報伝達面で課題が残ったため、防災訓練等で情報伝達訓練を検討し、工夫していきたい。



総合防災訓練の様子

小学校体育館LED照明導入事業

中学校体育館LED照明導入事業

Q 授業、部活動、学校開放などへの影響は。

A 教育総務課長 使用中や使用制限を行い施工するため、協力をいただくことになる。

小学校情報教育推進事業

中学校情報教育推進事業

Q 情報リテラシーについての教育をすべきでは。

A 学校教育課長 情報リテラシーや情報モラルは重要であり、発達段階に応じて指導していく。

学校法務相談等体制整備事業

Q 相談体制の具体例は。

A 学校教育課長 保護者等の対応で、過度な要求に対して、法的な観点のアドバイスをもらうことなどを想定している。

国民健康保険

Q 保険税滞納の実態は。

A 収納課長 滞納世帯数と差押えの処分件数は、前年と比較して減少している。

Q 特定健診の受診率向上のための取組は。

A 保健センター所長 過去の実績を基にAIを活用し、タイプ別の受診勧奨の通知を送付しており、成果が出ている。



後期高齢者医療

Q 保険料の滞納者数は。また、窓口負担増加に対する要望等は行わないのか。

A 保険年金課長 滞納者数は51人で、滞納金額が322万5970円である。埼玉県後期高齢者医療広域連合が、国に対して窓口負担の据置きを要望等を行っている。

介護保険

Q 高齢者数増加のほかに、保険給付費が上がる要因は。

A 高齢者福祉課長 居宅サー

ビス費に加え、本年4月には、鶴ヶ丘地内に特別養護老人ホームが開設される予定のため、施設サービス費を増額している。

Q 地域支援事業の取組は。

A 高齢者福祉課長 健康長寿の視点で事業を見直し、介護予防教室が行われていない地域等、市内12か所に民間のインストラクターを派遣する。

一本松地区区画整理事業

建物等の移転に要する経費、道路等の整備に要する経費を中心に計上され、前年度比895万36000円、29・5割の減となります。



一本松駅南口駅前交通広場

若葉駅西口地区区画整理事業

Q 延長した5年で残務整理を含めた事業が終了するのか。

A 区画整理課長 公債費等の負担も今後少なくなっていくため、事業費負担にめどがついている。相手があることだが、確実に終わるように進めていく。

特別会計予算()は、前年度予算額

国民健康保険	64億4684万円 (67億7230万円)	一本松土地区画整理事業	2億1364万円 (3億317万円)
後期高齢者医療	8億6064万円 (7億4699万円)	若葉駅西口地区区画整理事業	3億6602万円 (4億1576万円)
介護保険	50億3681万円 (43億7292万円)		